大地の恵みを受けて力強く芽吹いた双葉は"成長"のシンボル。
「気づく心」「感ずる心」「思いやる心」を大切に、
"お客様の満足"と"資産価値の最大化"を目指します。
SBM 三洋ビル管理株式会社
代表取締役社長　石橋　広盛
〒812-0011　福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勧博多駅前ビル2F
TEL　092-441-3131
FAX　092-441-3141
本部/東京　営業所/静岡

西鉄旅行は
第24回西日本食品産業創造展'14を応援します
海外旅行から、国内旅行まで
色々な旅をご提案します!
スポーツ観戦ツアーの専門ブランド「トライアンフ」
海外ツアーといえば「ハッピーツアー」
旅はみちくさ、あそびの心　国内ツアーの「みちくさ」
バスのお手配もおまかせください!
西鉄旅行株式会社　福岡支店　TEL 092-525-2211
〒810-0014 福岡市中央区平尾1-3-11

エネルギーで明日を拓く
株式会社 永興エナジー
代表取締役　永吉　宣雅
本　社　〒812-0897　福岡市博多区半道橋2-6-16
☎092-441-4841　FAX092-441-4769

福岡県知事建設業許可
（般元）第64086号
（冷暖房. 水道. 瓦斯 衛生. 消火.）設備
福岡市、糸島市
指定　水道工事店
井手設備工業所
代表　井手　友太
〒819-1132　福岡県糸島市有田36-1
TEL(092)322-0847　FAX(092)322-6654

福岡懐かCM物語　第3話

即席麺の「うまかっちゃん」といえば九州では知らない人はいないだろう。1979年の発売から今年で35年目。ご当地即席麺の元祖といってもよい。CMを制作したのは博報堂。「うまかっちゃん」のCMは学校の教室や校庭、部活の場面が印象に残る。初期のCMは当時の人気漫画「博多っ子純情」のキャラクター郷六平や小柳類子、阿佐道夫が実写やアニメで登場。原作者の長谷川法世さんも先輩役で出演していた。

ハウス食品　うまかっちゃん

九州に特化し　きめ細かい商品展開でロングセラーに

当時から「うまかっちゃん」は、ほんとうにうまかったーと長谷川法世さん

「うまかっちゃん」は今でこそ豚骨系即席麺の代名詞だが、開発までの道のりは平たんではなかったようだ。現在でも「うまかっちゃん」を製造するハウス食品福岡工場（福岡県古賀市）は当時、ヒット商品もなく、生産がない日は工場内の草取りをしていたという。一方、工場の食堂で出されるしょうゆ味ラーメンは、豚骨味に慣れ親しんだ地元九州出身の社員には不評だった。こうした中、多くの営業担当者から、九州で売れる製品の開発を切望する声がわき上がり「九州で売れる製品開発プロジェクト」がスタートした。

開発に与えられた期限は4カ月。初のエリア商品開発ということで、開発・調査担当者は九州各地の人気ラーメン店20軒以上をリサーチし、スープ開発に取り組んだ。スープの味の決定には福岡工場、福岡支店が協力。同時に地元九州の主婦を対象に試食テストも実施した。こうして地元志向のスープが完成した。

ネーミングやパッケージデザインは地元福岡のグラフィックデザイナー故西島伊三雄氏に相談。ネーミングは博多弁で「おいしいですよ」を意味する「うまかっちゃん」に決定。パッケージデザインにも同氏のイラストが採用された。そして79年9月に発売。CMや口コミが相まって5カ月後には九州でトップシェアになる大ヒットとなった。販売エリアは、一時期全国展開もしたが、西日本地区での強化策から09年に再び現在の地域限定に戻った。

35年の長きに渡り売れ続ける理由として同社は「九州に特化し、さらに各地区や各県の好みに合わせたきめ細かな商品展開を行ったこと」（東京本社広報IR部）と分析する。ロングセラーになると購入者の年齢層が高まる。同社では一時期コンセプトを変更した時期もあったが、現在は中学・高校生など食べ盛りの若い世代層をメーンターゲットとし「うまか学園」をコンセプトにしたCM展開を行っている。

2014年1月まで放映された「うまか学園」編。ＨＫＴ48の田島芽瑠さんが出演

多忙だったがCM撮影は楽しい思い出

――CMアニメ原作者・長谷川法世さん

当時のＣＭの一場面

「当時はずっと白い紙に向かって漫画を描いていたので日常的にサングラスを着用していた。CMにもそのまま出演したが、よくハウス食品が許してくれたと思う」。そう振り返るのは「うまかっちゃん」の初期CMに出演していた漫画家の長谷川法世さん。当時のCMの撮影秘話を聞いた。

―CM制作側にも参加されていたそうですね。

「CMで流れるアニメの原画も描いていた。CMは半年に1回は新作に切り替えていたと思う。私も博多で行うオーディションに立ち会っていた。おもしろいのは、小柳類子役の女の子の好みが東京からきた博報堂の方たちと違っていたこと。私はきりっとした顔の子を選ぶのだが、東京のスタッフはふっくらタイプの子を選ぼうとした。原作は読んでくれてたはずだが。最終的には東京勢に押し切られた。なぜなのかずっと考えていたんだが、今思えば博多人形のふっくらした顔立ちのイメージがあったのかもしれない」

―一番印象に残っている場面はなんですか。

「ラグビー編で一度、東京・荒川の土手で撮影したことがあった。私は子役たちと少し離れたところで撮影カメラのリモコンを持って一人でベンチに立ってるわけです。当日は曇り空だったが、雲が切れて青空になったら1秒程待って『トッカーン!』と叫びながら右手の拳をあげて左手でスイッチを入れるわけです。何度もチャレンジしていたから、土手を散歩していた人から不思議そうに見られた（笑）」

―うまかっちゃんのCMには10本ほど出演されましたが、思い出のエピソードはありますか。

「六平と類子の頭を先輩役の私が後ろからごっつんこさせる場面があったが、子役から『ほんとに痛かった』とあとでいわれた。あの場面では私の大きな笑い声が続くのだが、周りのスタッフの笑い声も入ってしまって何度も撮り直した。しかし一発目のような豪快な笑い声は出せなかった。山笠編の撮影では冷泉公園の近くで私も実際にヤマに乗ったのだが、あわてていたせいで真ん中に乗れずにヤマが動きだした。『見送り』の場面だったが結局真ん中に移動して動いたため、そのシーンはカットされてしまった」

―当時は東京から通われていたのですか。

「だんだん忙しくなって来ていた頃で『博多っ子純情』をはじめ3―4本の連載を抱えていた。だから撮影のたびに2週間分くらい書きためて博多に帰って来ていた。とても楽しい思い出だ」

―最後に「博多っ子純情」続編はありますか。

「大多数が同じ道をたどる青春時代の成長ストーリーだからヒットしたと思う。登場人物が大人になった話はシリアスにならざるを得ない。あるとしたらキャラクターを変えた方がおもしろいかも」

あのころフラッシュバック

1979年は、国公立大学共通一次試験（当時）が初めて実施された年。受験勉強の夜食に「うまかっちゃん」を食べていたという人もいるのでは。この年ソニーのヘッドホンステレオ「ウォークマン」が初めて発売された。「異邦人」の久保田早紀がレコードデビュー。同曲は翌80年にかけてヒットした。福岡では西鉄福岡市内線の路面電車が全廃された。

アクセスはサクセスに近い。
移動に便利な交通網で、会場へも街へもスムーズにアクセス!

一般財団法人 福岡コンベンションセンター
FUKUOKA CONVENTION CENTER
〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1
http://www.marinemesse.or.jp
TEL.092-262-4111
FAX.092-262-4701